

3. ダムサイトの地形・地質

事 項	要 点	備 考
-----	-----	-----

3.3 基礎地盤の地盤構成および地質機構

表-3.3.1 ダムサイトの断層一覧表

断層名	走向・傾斜 ¹⁾	破碎幅 (cm)	備 考
F-1	N15W/75E(H測線より北) N30W/80E(H測線より南)	150~200	右岸。横坑では幅3~4mの劣化ゾーンを伴っている。
F-2	N55E/75N(H測線より北) N30E/70N(H測線より南)	10~50	右岸~左岸。破碎幅は横坑内では10~30cmと小さいが、河床露頭では50cmとやや大きい。
F-2'	N50E/70N	100	D測線付近の安威川河床に露頭がある。横坑やボーリングでは捕捉しておらず連続性は良くないと考えられる。
F-3	N70W/30N	120~180	左岸。幅40~70cmの明瞭な粘土を有する。ホルンフェルスの構造と調和的である。 F-13から分支している可能性が高い。
F-4	N25E/55~70W	80~200	左岸。露頭2箇所でも確認されており、連続性が明瞭である。また、空中写真によって明瞭なニアメントが判読できる。走向はN15E~40Eの範囲で変化し全体に緩やかに波曲している。傾斜角も45~75°の範囲で変化する。
F-4.1	N5E/65W	10	左岸。横坑ではF-4の上盤側をなす。F-4から分支する。
F-4.2	N20E/65W	10	左岸。横坑では確認していないが、ボーリングで捕捉している。F-4.3から分支する。
F-4.3	N5E/65W	10	左岸。横坑では確認していないが、ボーリングで捕捉している。F-4から分支する。
F-4.4	N20E/65W	10	左岸。横坑では確認していないが、ボーリングで捕捉している。
F-5	N45E/30N	30	左岸。明瞭な粘土を有する。平行するF-6に挟まれた幅約6~7mの区間は、劣化ゾーンとなっている。
F-6	N45E/55~60N	85	左岸~右岸。明瞭な粘土を有する。
F-7	N30E/55W	20	右岸。明瞭な破碎帯を有しないが、周辺岩盤は全体に介し、劣化している。
F-8	N75E/75N	10	右岸。鏡肌を有する粘土を伴う。
F-9	N80W/75N	10	右岸。破碎幅は小さいがF-2を変位させている。また、F-1も変位させている可能性がある。
F-10	N60W/70N	80	河床~右岸。N側線付近の河床部に露頭がある。変質したマサ~粘土よりなる。F-6により変位を受けている可能性が高い。
F-11	N60E/55~65N	50	左岸。F-12により変位を受けている可能性が高い。
F-12	N80W/50N	30~(300)	左岸。鏡肌が明瞭な粘土化らなり、ダム軸方向に連続する。横坑TL-1下・支では最大3mの破碎帯を伴っている。F-3,F-6を変位させている可能性が高い。
F-13	N85W/50N	60	左岸。幅60cmの粘土よりなる。上流側へよく連続する。F-3を変位させている可能性が高い。
F-14	N20E/75W	20	右岸。よく連続するシーム。
F-15	N70E/75S	15	右岸。よく連続するシーム。
F-16	N40E/50W	20~30	左岸。よく連続するが、F-12により変位を受けている可能性が高い。
F-17	N55E/55N	10~30	左岸。F-12により変位をさせられている可能性が高い。
F-18	N75W/85N	10	左岸。F-4により変位をさせられている可能性が高い。
F-19	N25E/70W	10~30	左岸。F-4より分支し、これと並走する。
F-20	N38E/65N	30	左岸。横坑では確認していないが、ボーリングで捕捉している。
F-20.1	N38E/65N	10	左岸。横坑では確認していないが、ボーリングで捕捉している。
F-20.2	N38E/65N	10	左岸。横坑では確認していないが、ボーリングで捕捉している。
F-20.3	N38E/65N	10	左岸。横坑では確認していないが、ボーリングで捕捉している。

- F-1 断層系
- F-4 断層系 (高角度)
- F-4 断層系 (低角度)
- F-13 断層系 (高角度)
- F-13 断層系 (低角度)

有番断層の基準

- ①横坑のみで確認されたもので幅 30cm 以上の粘土主体の劣化部を有し、平滑な面をもつもの。
- ②複数の横坑で確認されるもの。
- ③横坑と複数のボーリングで連続性が確認できるもの。
- ④露頭で確認され、横坑あるいはボーリングで追認できるもの。

なお、基準を満たさないが、調査の疎密を勘案すれば設計上地質図に表示した方が有効と判断されるボーリングで確認された F-2',F-4-1~4,F-20,F-20-1~3 の 9 本を有番断層としている。

1) 横坑での測定値を基準とし、地質平面図、断面図に使用した値。